

(別紙様式2)

授業科目等の概要

(服飾専門課程ファッションビジネス学科ビジネスプランニングコース) 平成26年度																
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携	
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任		
○			デザイン学	デザインとは何か。デザインの基本的な知識。デザインに関わる、造形、素材、紡績について。	1 2 通	40	2	○			○		○			
○			服飾理論	ファッション産業から人々の生活全体にまで広がりを持つアパレルに関する分野や、これに携わる専門的な知識などを習得する。洋裁、用尺、用具、針と糸、接着芯についてなど。	1 前	9	0.3	○			○		○			
○			造形学	造形の歴史、造形の基本のラインを知る。抽象と具象について。音楽を聴いて創造力を高める。紙、粘土、木を使って立体構成を考え作る。	1 通	30	1	△		○	○			○		
○			商品知識	アイテムの知識、素材、柄の知識、副資材の知識、サイズの知識を学ぶ。	1 前	15	0.5	△	○		○		○			
○			色彩学	色名、色相環、色彩の感情効果、PCCS(日本色彩配色体系)、配色、多配色、混色。パーソナルカラーの基礎、診断方法、マップ作成を学び、実践に生かせるテクニックを習得。	1 2 3 通	75	2.5	○	△		○			○		
○			服装史	背広のルーツ、18世紀貴族服から19世紀市民服へ。西洋人と日本の服装。女子服の実用化、20世紀後半。	1 通	15	0.5	○			○			○		
○			テキスタイル	商品の品質表示について。綿、麻、毛、獣毛、絹、合繊繊維、再生繊維、皮革、毛皮等の素材の種類と特徴。織物と編物の違い。三原組織。	1 2 通	30	1	○		△	○			○		
○			生産管理A	アパレル商品の生産現場について、資材・機械・原価・工程管理・品質管理・生産・加工・クレーム、納期計画についても理解し、より良い商品作りを目指す。	3 通	25.5	0.85	○			○			○		
○			英会話	基礎英会話力を身に付け、ファッション用語を取り入れながら様々なシチュエーションを設定し英語で会話することを試みる。	1 通	22.5	0.75	○			○			○		
○			心理学	衣服の色や形、メイクなど、自己を表現する様々なファッションアイテムとそれらの心理的影響を考察し、生活場面での活用を通じて、自身の心の受容と人々の豊かな心をつくる方法を学ぶ。	3 通	30	1	○			○			○		
○			就職指導	就職活動の心構え。説明会の参加方法とマナー。アポイントの取り方。自己分析の方法と実践。履歴書と自己PRの書き方。手紙の書き方。面接練習。ポートフォリオの作り方と製作。	1 2 3 通	45	1.5	△	○		○		○			
○			特別講義	コレクション情報やファッションカラー講義など、映像と説明により、最新のトレンド情報とこれからの流行しそうな色を習得する機会となる。	1 2 3 通	45	1.5	○			○			○		
○			学校行事	ファッションやデザインに関わるようなテーマにそった美術館、展覧会、先輩達が勤務しているアパレル企業の展示会を見学しに行く。	1 2 3 通	180	6			○		○	○			
○			アパレル造形	イコリティ・リピート・グラデーション・アシンメトリー・アンバランス・義対称・シュパニング等の観念を知りデザインに取り入れる。	2 通	30	1	△		○	○		○			

○		商品リサーチ	商品アイテムのリサーチをし、商品のディテールや、縫製方法、デザインスケッチなど商品作りにかかせない要素を見るのがポイント。洗濯表示、素材表示を確認し、市場のトレンド傾向も学ぶ。	2 通	30	1	○		○		○		
○		イラスト	基本のボディー演習からポージングまでのボディーを描けるようにする。さらに、繊細な素材表現、ディテール表現のテクニック、様々な画材道具を使つてのテクニックを習得する。	1 2 3 通	210	7	△		○		○		○
○		ニット	ニットの基礎知識。家庭機から工業機の編み機の基礎知識を習得する。また、デザインイメージをニット製品に表現する能力を高める。	2 前	3	0.1	△		○	○			
○		フ ラ ッ ト パ ターン	平面製図。スカート、ブラウス、ジャケット、ビズチェ、変わり袖などを4分の1縮尺で製図する。それを原寸でひく事もある。	1 通	60	2	△	○		○		○	
○		部分縫い	ポケットの種類、袖口の明きの種類など、部分的な縫製練習をする。	1 通	90	3			○	○		○	
○		ミシン講習	ミシンの使用方法、ミシン針の種類について学ぶ。工業用ミシン、4本ロックミシン、特殊ミシン(釦ホール機、はと目機械)などは、実践してみる。特殊素材について縫い方のアドバイスも習得。	1 前	6	0.2	△		○	○			○
○		生産管理B	アパレル商品の生産現場について、発注と原価の詳細設計、国内海外の生産ラインの管理を理解し、高品質の商品作りを目指す。	3 前	4.5	0.15	○			○			○
○		販売学	お客様の顔型や体型を診断し、個人に合ったカラー・デザイン・シルエットなど、トータルコーディネートができる販売員を目指す。	2 通	27	0.9	△		○	○		○	
○		ロールプレイ ング	接客を通じてお客様に対し、どのようにアプローチをして商品説明し、商品に魅力を感じてもらいながら購入につなげるかの接客技術を習得する。	1 後	3	0.1			○	○		○	
○		MD	店舗に対しての商品品揃え計画、売場レイアウト・ディスプレイ計画も含めたマネージメントを理解し、プレゼンテーション能力を身につける。	2 3 通	159	5.9	○		△	○			○
○		VMD	ディスプレイの基礎知識とその重要性を把握する。	2 3 通	79.5	2.65	○		△	○			○
○		V D	ブランドコンセプトを理解し、ショップの販売促進に必要なDM・POP・ネームタグなどのツールをデザインする。	2 3 通	39	1.3	○		△	○			○
○		ディスプレイ	商品をレイアウトするディスプレイや様々な場面・テーマを設定し目的や空間を考えディスプレイすることで演出の仕方や的確なテクニックを身に付ける。	1 2 3 通	42	1.4			○	○		○	
○		ピンワーク	ディスプレイ技法の一つである、店舗什器やボディに対して一枚ものの生地で作出を創作する技術を習得する。	1 後	7.5	0.25			○	○		○	
○		店舗リサーチ	売場レイアウトや商品の品揃え・接客対応など、実際の店舗を対象に市場調査を実施して分析する。	2 3 通	120	4	△		○	○	△		○
○		ショ ッ プ デザ イン	マーチャンダイザーとして店舗企画する上での基礎知識や縮尺図を習得し、実際に構想したオリジナルブランドのショップのミニチュア模型作成までを行う。	3 前	3	0.1	△		○	○			○
○		アドバタイジ ング	広告媒体を中心としてイベント（ショー）の企画・立案からプレゼンテーションの演習まで行う。	2 3 通	114	3.8	△		○	○	△		○

○		イベント企画	ショー・イベントが出来上がるまでの基本的なプロセスを各自が構想した企画について検証し、ブレクテーション演習まで行う。	3 前	3	0.1	△		○	○			○	
○		コピーライティング	商品を実際させるための広告宣伝の文章の作成と、それを考察する技術を得る。	2 3 前	37.5	1.25	○		△	○			○	
○		パッケージ	商品購入時に含むラッピングの基礎技術から、様々な贈り物に対するアレンジ手法を得る。	1 通	22.5	0.75	○		△	○			○	
○		品質管理・クレーム	素材学で長所と短所の知識を学び、ロールプレイングをしてクレームのお客様への対応を学ぶ。	2 通	30	1	○		△	○			○	
○		パーソナルスタイリング	個人に合ったカラー・デザイン・シルエットを分析し、トータルコーディネート提案できる知識と手法を得る。	2 通	60	2	○		△	○			○	
○		フォーマル・帽子	様々なフォーマルシーンにおける、帽子の種類を学び、帽子の脱着に関するマナーも得る。	2 前	1.5	0.05	○			○			○	
○		アクセサリー	様々なコーディネートに対してアクセントとなる装飾品の種類と取り扱いに関して学ぶ。	2 前	1.5	0.05	○			○			○	
○		IT(ビジネス)	動画編集やオリジナルショップのイメージ映像の設定で各自が計画した表現したいイメージ映像のオリジナル作品の作成し、操作技術と表現力をつける。	1 2 3 通	100.5	3.35	△		○	○			○	
○		ビジネス用語	服飾用語、人物、現在までの全てのファッションスタイル、シルエット、アイテムの特徴、ディテール説明、トレンドの概要を理解する。	1 通	30	1	△	○		○			○	
○		Fビジネス検定対策	ファッションビジネス能力検定3級対策。理解しにくいと思われるところを解説し、問題を解く。	1 2 3 後	115.5	3.85	△		○	○			○	
○		制作実習	企業と連携して企画や制作をし、また授業で出題された課題に取り組む。	1 2 3 通	288	9.6	△		○	○			○	○
○		学園祭実習	文化祭に向けて、ファッションショーの衣装を製作したり、展示物の製作をする。	1 2 3 前	105	3.5			○	○			○	
○		卒業展製作実習	卒業ファッションショーの衣装製作。自分でデザイン画を描き、そのパターンをひき縫製をする。時には、素材作り、生地を染めたりもする。	3 後	115.5	3.85			○	○			○	
○		自由研究実習	休暇中に自分でテーマを見つけ、そのテーマにそった作品等を制作する。例えば、ITを使って企画書から考え、それを実際に服にしていくなど。	1 2 3 通	180	6			○	○			○	
合計			45 科目	2700 単位時間(90 単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
2610時間(87単位)以上の履修と課題提出により卒業認定を行う。	1 学年の学期区分	2期
	1 学期の授業期間	18週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。